

ミュシャと日本 日本とオルリク

MUCHA AND JAPAN
JAPAN AND ORLIK

IN COMMEMORATION OF THE 100TH ANNIVERSARY OF
JAPAN-CZECH REPUBLIC RELATIONS

2020
日・チェコ交流
100周年

2019年 9月7日(土) → 10月20日(日)

400 点を超える版画、ポスターなどグラフィック作品を通して見る
ミュシャと日本、日本とオルリクをめぐる物語とは…



アルフォンス・ミュシャ ポスター《煙草巻紙ジョブ》1898年 石版、紙
三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム蔵

開館時間 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)
*入場受付は閉館の30分前まで

休館日 9月30日(月)、10月7日(月)

観覧料 一般1200(960)円、大学生700(560)円
小・中学生、高校生無料

*オープニング記念割引:9月7日(土)の初日は観覧料半額

*10月18日(金)は「市民の日」につき観覧無料

*障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

*()内は前売り、団体20名以上、市内在住65歳以上の方の料金

*前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(8月25日まで)、
ローソンチケット(Lコード:35404)、セブンイレブン(セブンチ
ケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」
「千城台駅」の窓口にて9月6日まで販売(9月7日以降は当日券
販売)

主催 千葉市美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会

後援 駐日チェコ共和国大使館／チェコセンター東京

協賛 ライオン／大日本印刷／損保ジャパン日本興亜／
日本テレビ放送網

協力 ルフトハンザカーゴAG／イデッフ／
一般財団法人高久国際奨学財団

特別協力 チェコ国立ブラハエ芸術美術館／
ダッハウ市ダッハウ美術館



エミール・オルリク《ドボトフスキー手袋店》
1897年 石版、紙 宇都宮美術館蔵

展覧会概要

この展覧会は、アルフォンス・ミュシャ (Alfons Mucha 1860-1939) とエミール・オルリク (Emil Orlik 1870-1932) というチェコ出身のふたりのアーティストに光をあて、ジャポニズム (日本趣味) の時代に出発した彼らの作品と、彼らから影響を受けた日本の作家たち、さらにはオルリクに木版画を学んだドイツ語圏の作家たちを取りあげ、グラフィックを舞台に展開した東西の影響関係を観察しようとするものです。

ミュシャは、ジャポニズムに湧くパリで、女優サラ・ベルナールを描いた《ジスモンダ》に始まる一連のポスターで名を馳せました。その評判はすぐさま日本に伝わり、ミュシャの女性像は1900年創刊の雑誌『明星』で紹介されて白馬会を中心とする日本の画家たち—藤島武二や中沢弘光らに絶大な影響を与えました。一方のオルリクは、ブラハに生まれ、ベルリンやウィーンでジャポニズムの潮流にふれて日本への憧れを募らせました。そして1900年から翌年にかけて来日、浮世絵版画の彫りや摺りを学び、帰国して多くの後進を木版制作に駆り立てます。また、滞日期に手がけた石版画が、白馬会展に出品されて雑誌『方寸』に集った作家たちを大いに刺激したことも知られています。

こうした1900年前後の影響関係は、グラフィックを介したジャポニズムとその還流と捉えることができます。本展ではミュシャとオルリクに加え、背景としてのチェコのジャポニズムを紹介するほか、ウィーン分離派の周辺作家やヴォイチェフ・プライシグ、タヴィーク＝フランティšek・シモン、ヴァルター・クレム、カール・ティーマンらの作品を、雑誌『明星』や『方寸』周辺の作品と合わせ、グラフィックならではの、即時的で双方向な東西の芸術交流のさまを検証します。

ミュシャと日本 日本とオルリク

2020
日・チェコ交流
100周年

MUCHA AND JAPAN
JAPAN AND ORLIK
IN COMMEMORATION OF THE 100TH ANNIVERSARY OF
JAPAN-CZECH REPUBLIC RELATIONS

ミュシャと日本、日本とオルリク
Mucha and Japan / Japan and Orlik in commemoration of the 100th
Anniversary of Japan-Czech Republic Relations

2019年 9月7日(土) → 10月20日(日)

開館時間 10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで)

休館日 9月30日(月)、10月7日(月)

観覧料 一般1200(960)円、大学生700(560)円、小・中学生、高校生無料

みどころ

【展覧会の3つのポイント!】

■ミュシャ大好き! でも日本との関係を知ってますか?

ジャポニスムに湧くパリにおいて、美しい女性を描いたポスターで一世を風靡したミュシャ。その熱狂は、ポスターや雑誌を通じてすぐに日本へ伝えられ雑誌『明星』で紹介され、白馬会を中心とした日本の画家たちに大きな影響を与え、藤島武二や中沢弘光といった「日本のミュシャ派」とでも言うべき画家によって耽美な女性像が描かれるようになりました。現代においてなおミュシャが人気なもの、1900年頃の日本での熱狂的なミュシャ需要があったからかもしれません。

■もう一人のキーパーソン! エミール・オルリクって誰?

エミール・オルリクはプラハに生まれ、ミュンヘンで絵を学びました。ウィーン分離派のメンバーとしても活躍し、19C末のヨーロッパにおけるジャポニスムブームに触れて日本への憧れをつのらせ、1900-01年、1912年来日。浮世絵版画の彫りや摺りといった技術を学び、多色摺りの木版画を制作しました。来日中は白馬会の画家たちとも交流を持ち、帰国後は日本で制作した版画を展示するなど木版画の技術をウィーン分離派の画家たちやドイツ語圏のアーティストに伝え、影響を与えました。本展のテーマである「グラフィックを通した東西交流」において最も重要な作家といえるオルリクの作品を、日本で初めてまとめてご紹介します。

■日本初紹介! チェコにおけるジャポニスム、そして画家たち

19C末から20C初頭にかけて、チェコでもジャポニスム(日本美術愛好)が開花しました。本展はチェコにおけるジャポニスムを紹介する日本で初めての展覧会となります。知られざるチェコの画家たち—ミュシャの工房で仕事をし、20C前半のチェコを代表するグラフィックデザイナーであるヴォイチェフ・プライシグをはじめ、ウィーン分離派の画家たちや、ヴァルター・クレム、カール・ティーマンのほか、タヴィーク=フランティšek・シモンらの作品を日本で初めてご紹介します。



アルフォンス・ミュシャ ポスター《ムーズ・ビール》
1897年 リトグラフ、紙
三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム蔵



エミール・オルリク《ボトロフスキー手袋店》
1897年 石版、紙 宇都宮美術館蔵

展覧会構成

- プロローグ ジャポニスム／光琳ブームと浮世絵
第1章 チェコのジャポニスム
第2章 ミュシャと日本
第3章 日本とオルリク
第4章 オルリクの後継者たち
エピローグ オルリク、再び日本へ



エミール・オルリク《築地第一ホテルの前の人力車》1900/1901年
石版、紙 バトリック・シモン・コレクション、プラハ

＼こんなジャンルが好きな方におすすめの展覧会!／

ジャポニスム、グラフィック、版画、ポスター、雑誌、デザイン、アール・ヌーヴォー、ウィーン分離派、琳派、浮世絵



ミュシャと日本、日本とオルリク
 Mucha and Japan / Japan and Orlik in commemoration of the 100th
 Anniversary of Japan-Czech Republic Relations

2019年 9月7日(土) → 10月20日(日)

開館時間 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)

休館日 9月30日(月)、10月7日(月)

観覧料 一般1200(960)円、大学生700(560)円、小・中学生、高校生無料

関連イベント

■講演会

「ミュシャと挿絵の世界」 講師：西川奈津美(堺 アルフォンス・ミュシャ館 学芸員)

10月6日(日) 14:00～(13:30開場予定) / 11階講堂にて / 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) / 聴講無料

■ワークショップ

①「消しゴムはんこで蔵書印をつくろう」 講師：あまのさくや(絵はんこ作家)

9月8日(日) 13:30～16:30

②「にじいろメダル」を作っちゃおう!

10月5日(土) 10:00～15:00(14:00受付終了)

■みんなで作るスタジオ・プレ企画

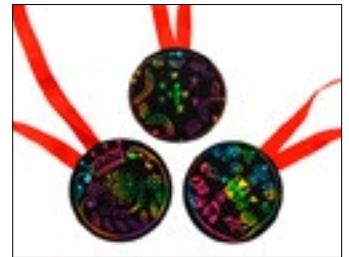
③「気づいて話して楽しもう!みんなのアート鑑賞ワークショップ」

9月22日(日) 13:00～15:30

④「秋めくお皿づくり」

10月19日(土) 13:30～16:30

※①、③、④は事前申込制、詳しくはHPをご覧ください。



②「にじいろメダル」イメージ

■市民美術講座

「めぐるジャポニスム―「ミュシャと日本、日本とオルリク」展に寄せて」 講師：西山純子(当館上席学芸員)

9月21日(土) 14:00～(13:30開場予定) / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

「収集をめぐるいとなみ 蕭白と一村、新たな寄贈コレクション」 講師：松尾知子(当館上席学芸員)

10月12日(土) 14:00～(13:30開場予定) / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

■ギャラリートーク

担当学芸員による：9月11日(水) 14:00～

ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(9月11日を除く) 14:00～

※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

※混雑時には中止する場合があります。

◆各イベントの変更、中止につきましてはホームページをご確認ください。

記者レクチャー

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

9月6日(金) / 14:00より(1時間30分程度) / 8階展示室にて

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

また、展覧会の開催に伴いオープニングレセプションを行います。ぜひご参加ください。

9月6日(金) / 16:00より / 11階講堂にて

同時開催

新収蔵作品展「蕭白と鉄斎、一村と魁夷 収集をめぐるいとなみ」

※「ミュシャと日本、日本とオルリク」展をご観覧の方は無料

次回展予告

「目【mé】 非常にはっきりと わからない」

2019年11月2日(土)～12月28日(土)

「ミュシャと日本、日本とオルリク」

広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1

アルフォンス・ミュシャ
ポスター《煙草巻紙 ジョブ》1898年
三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム蔵



2

アルフォンス・ミュシャ
ポスター《サラ・ベルナール
主演「ジスモンダ」》
1895年 三浦コレクション、
川崎市市民ミュージアム蔵



3

アルフォンス・ミュシャ ポスター《ムーズ・ビール》
1897年 三浦コレクション、川崎市市民ミュージ
アム蔵



4

エミール・オルリク《ボトロフスキー手袋店》
1897年 宇都宮美術館蔵



5

エミール・オルリク《東京の通り》
1900年頃 宮城県美術館蔵



6

エミール・オルリク《築地第一ホテルの前の人力車》
1900/1901年 バトリック・シモン・コレクション、プラハ



7

織田一磨《東京風景 上野広小路》1916年
千葉市美術館蔵



8

ヴォイチェフ・プライシグ
《少女の思い、〈カラー・エッチング〉集、図1》
1903年 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵



9

中沢弘光 《絵葉書「美人と感覚」表情六態
二、嗅(女学生)》1905年 三重県立美術館蔵

「ミュシャと日本、日本とオルリク」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1申込について1回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 磯野 行

FAX：043-221-2316

E-mail：isono@ccma-net.jp

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ （おおよそで結構です 例：5cm 四方、など） ：

■画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. アルフォンス・ミュシャ ポスター《煙草巻紙 ジョブ》1898年 三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム蔵
2. アルフォンス・ミュシャ ポスター《サラ・ベルナール主演「ジスモンダ」》1895年 三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム蔵
3. アルフォンス・ミュシャ ポスター《ムーズ・ビール》1897年 三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム蔵
4. エミール・オルリク《ポトロフスキー手袋店》1897年 宇都宮美術館蔵
5. エミール・オルリク《東京の通り》1900年頃 宮城県美術館蔵
6. エミール・オルリク《築地第一ホテルの前の人力車》1900/1901年 パトリック・シモン・コレクション、プラハ
7. 織田一磨《東京風景 上野広小路》1916年 千葉市美術館蔵
8. ヴォイチェフ・プライシグ《少女の思い、〈カラー・エッチング〉集、図1》1903年 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵
9. 中沢弘光《絵葉書「美人と感覚」表情六態 二、嗅（女学生）》1905年 三重県立美術館蔵

■プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

☐ 5組 10名様分 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先

ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-0013 千葉市中央区中央 3-10-8

広報担当：磯野 愛

Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <http://www.ccma-net.jp/>